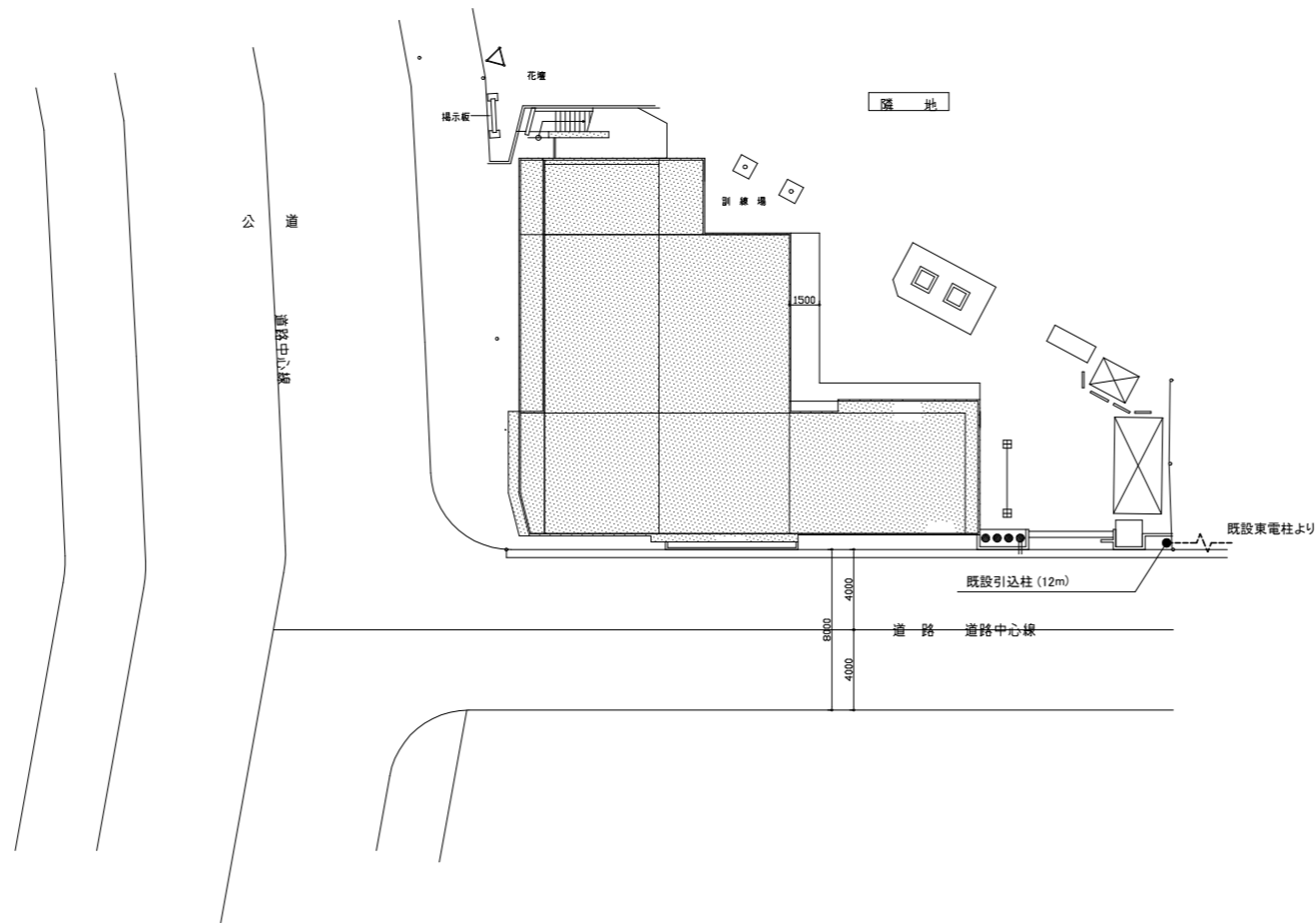
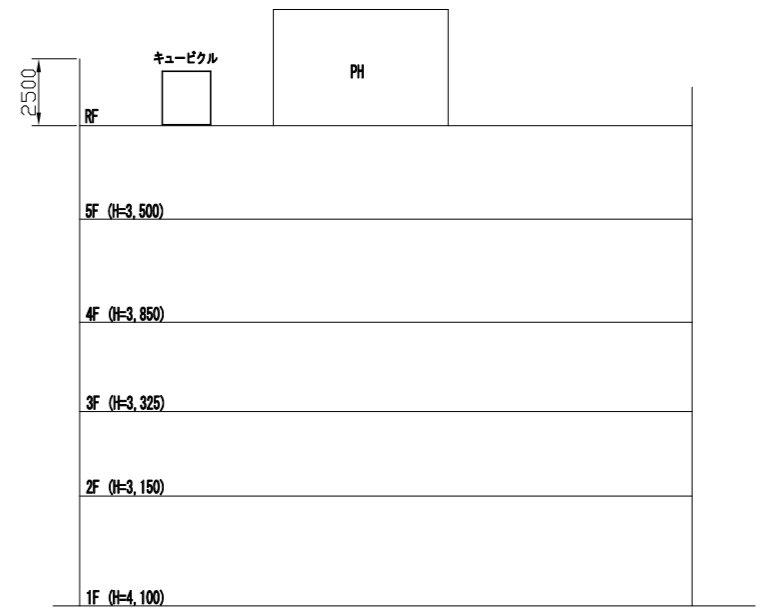




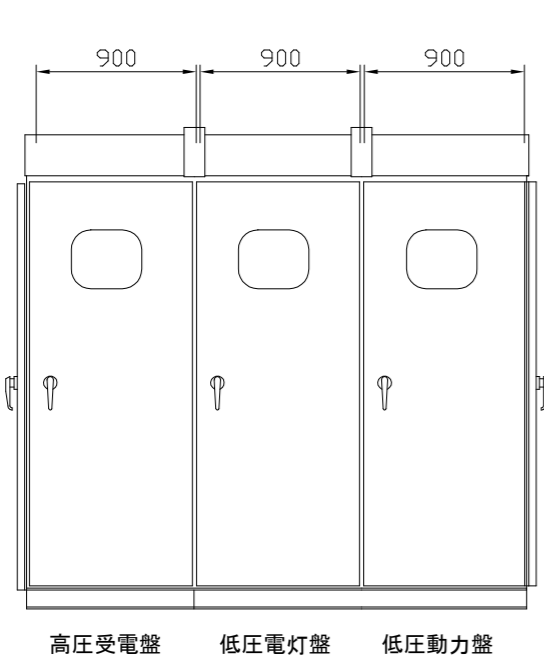
案内図 NS



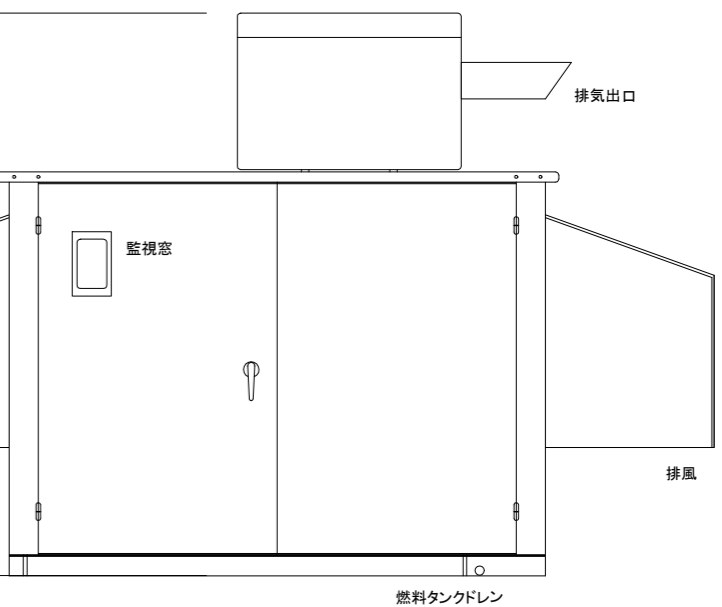
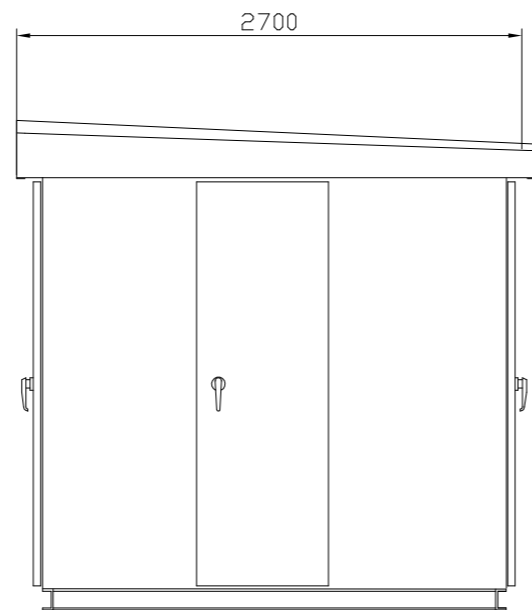
配置図 NS



立面図 1:200

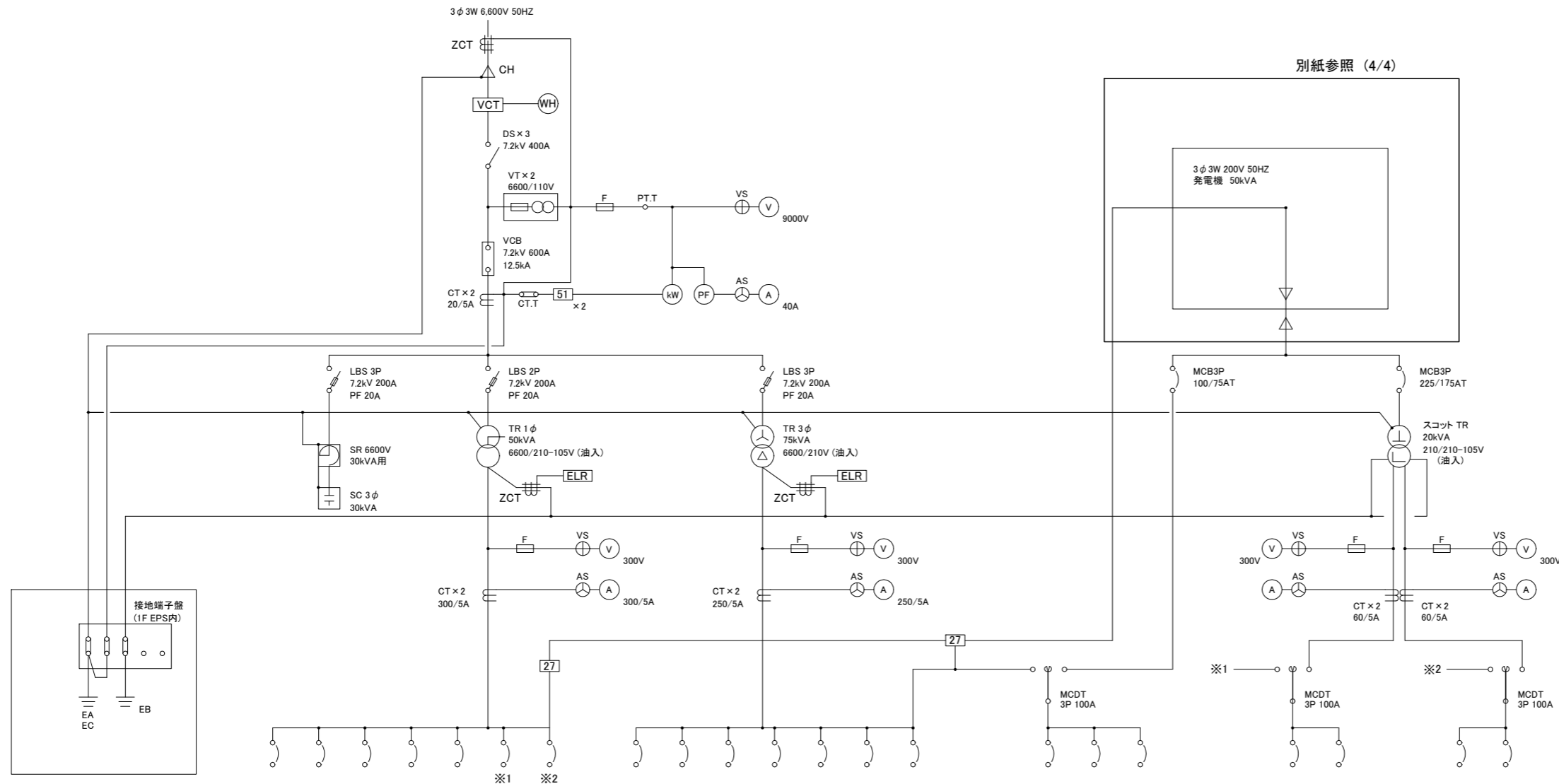


キュービクル参考姿図 NS



非常用発電機参考姿図 NS

工事名	北消防署受変電設備改修その他工事			設計者資格氏名	級建築士登録第 号		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	案内図・配置図・立面図・参考姿図	図番	1/5	縮尺	1:200・NS(A2)	作図	令和5年4月日			



別紙参照 (4/4)

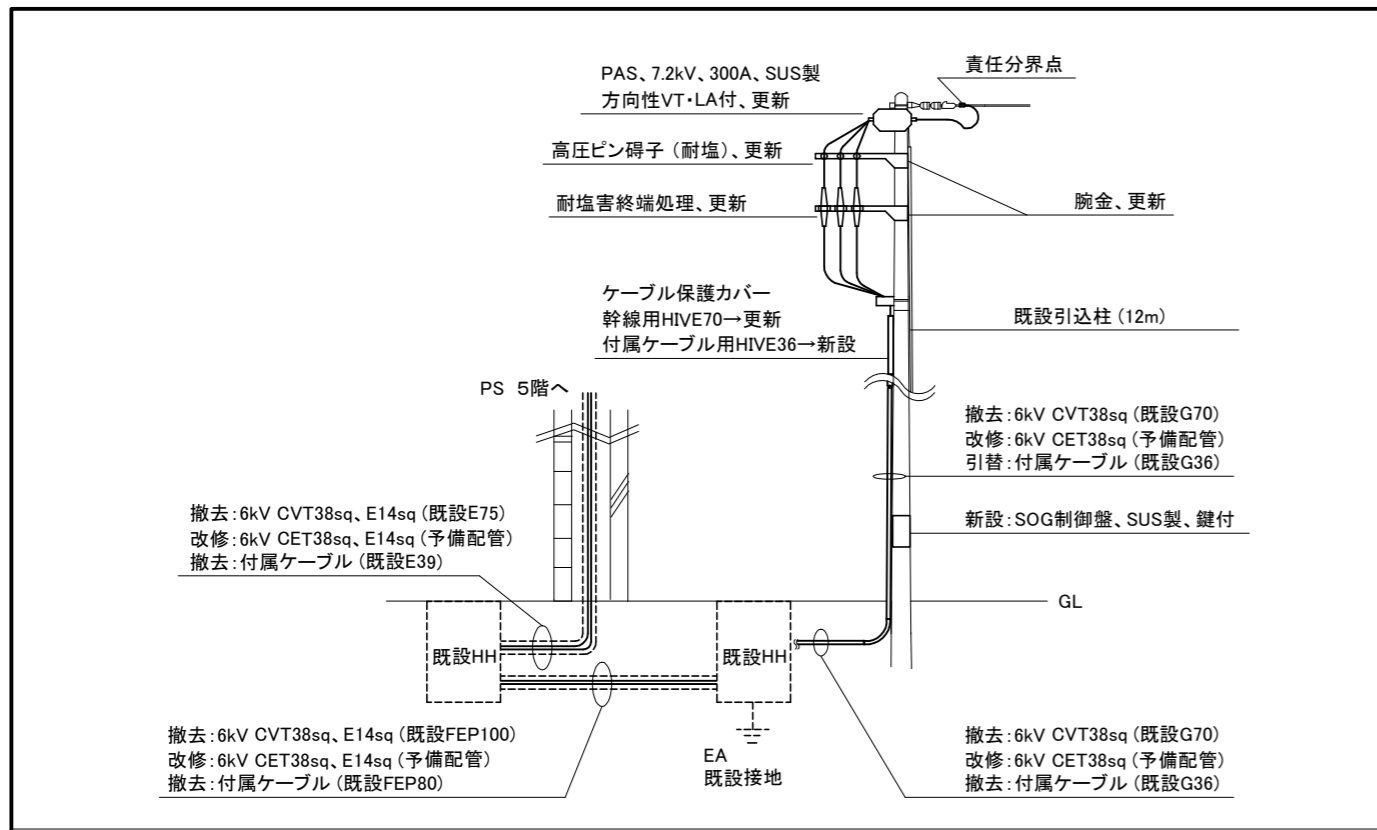
負荷名称	容量	MCB定格	幹線
LP-5	17.18kVA	MCB3P 100/100AT	38sq
L-3	18.87kVA	MCB3P 100/100AT	38sq
所内電源		MCB2P 50/20AT	
予備		MCB3P 100/100AT	
予備		MCB2P 50/30AT	5.5sq
L-3 発電回路	7.5kVA	MCB3P 100/75AT	
LP-5 発電回路	6.99kVA	MCB3P 100/75AT	
エレベーター	5.5kW	MCB3P 100/75AT	14sq
LP-4 (P-2)	12.96kW	MCB3P 100/75AT	22sq
P-R1	9.39kW	MCB3P 100/75AT	14sq
P-R2	23.4kW	MCB3P 100/100AT	38sq
P-5A	8.13kW	MCB3P 100/75AT	14sq
P-5B	13.56kW	MCB3P 100/100AT	22sq
予備		MCB3P 100/100AT	
LP-1 (P-0)	2.7kW	MCB3P 50/30AT	5.5sq
LP-4 ホースタワー盤	1.5kW	MCB3P 50/20AT	5.5sq
予備		MCB3P 50/30AT	
L-3	7.5kVA	MCB3P 50/50AT	14sq
予備		MCB3P 50/50AT	
LP-5	6.99kVA	MCB3P 50/50AT	14sq
予備		MCB3P 50/50AT	

注記

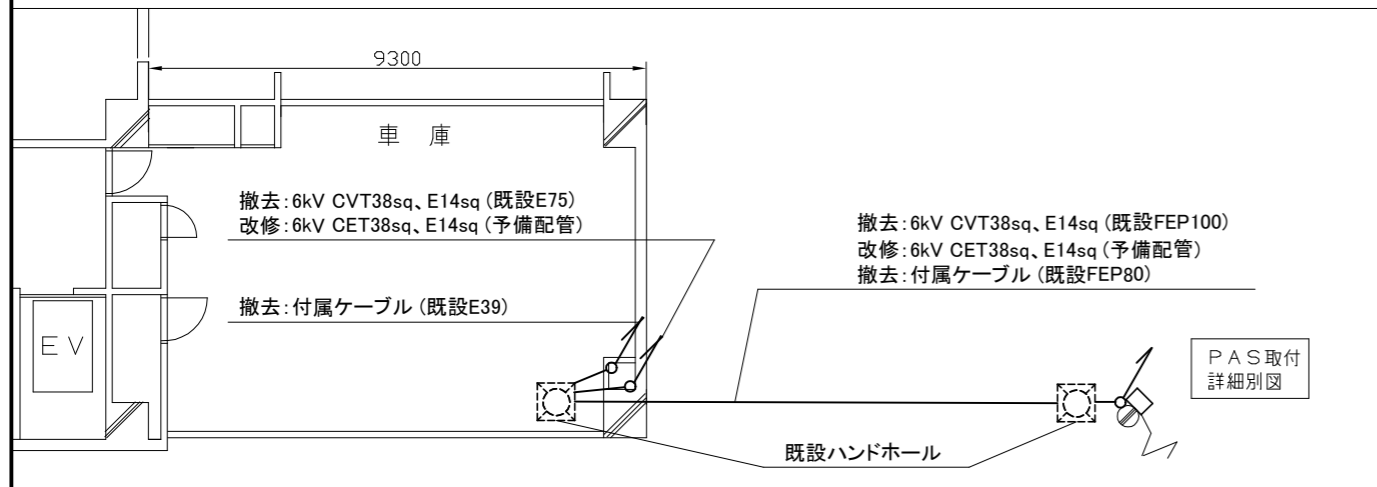
- ・盤の仕様は、屋外、自立型、屋根付、製作盤、底板付、鍵付塩害フィルター付、溶融亜鉛溶射
- ・重耐塩害指定色塗装、チャンネルベース共
- ・変圧器には防振ゴム及び耐震ストッパーを設置すること
- ・“高圧危険”等の表示盤を取り付けること
- ・予備品はメーカー標準とする
- ・キュービクル内に点検用コンセントとLED盤内灯を設けること
- ・横須賀市火災予防条例19条による構造とする
- ・不要な配管配線は撤去すること
- ・搬出入経路は現地にて消防局、監督員と協議すること

高圧受変電盤 単線結線図 (参考)

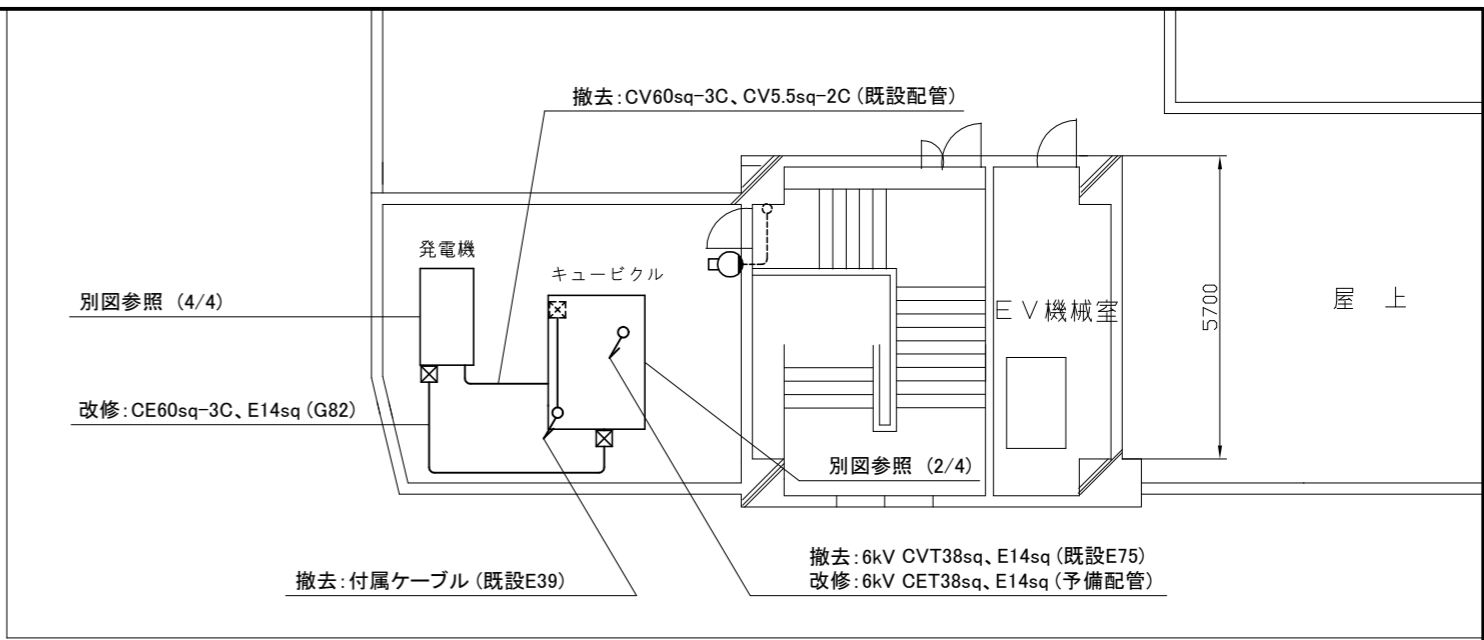
工事名	北消防署受変電設備改修その他工事			設計者資格 氏名	級建築士登録第 _____ 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	単線結線図	図番	2/5	縮尺	NS	作図	令和5年4月日				



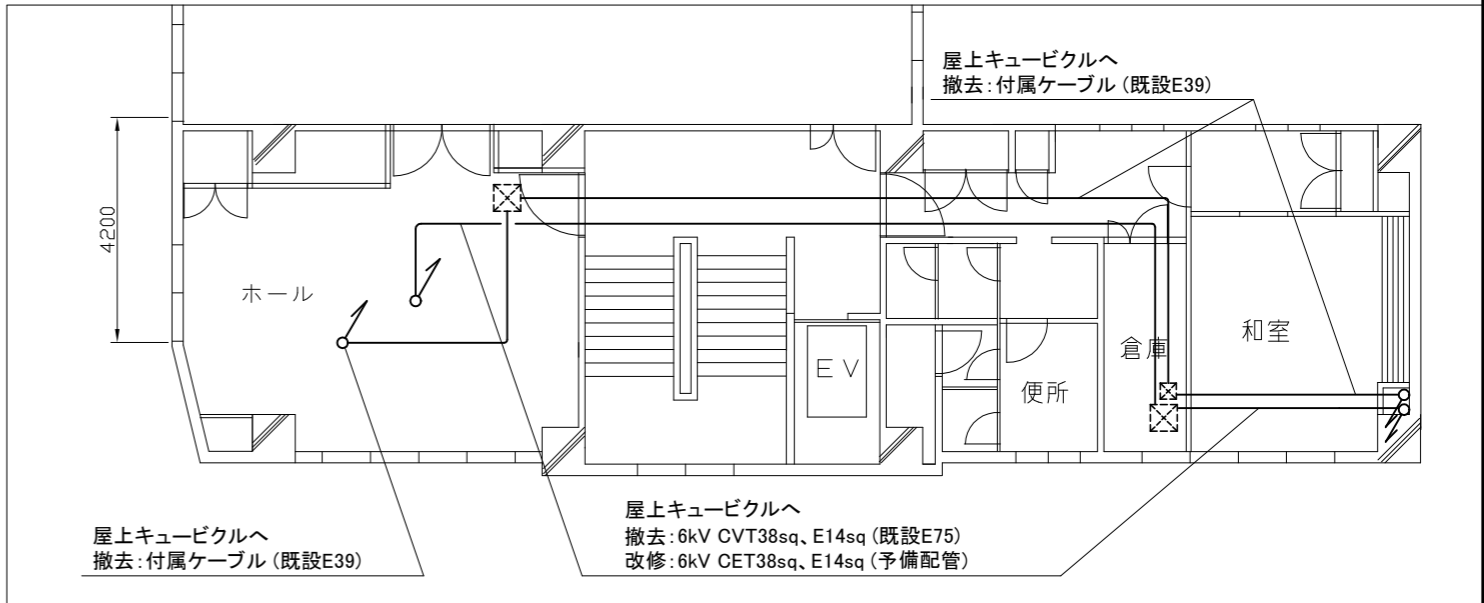
PAS取付詳細図 NS



1階 平面図 1:100







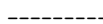
屋上 平面図 1:100



5階 平面図 1:100

凡例

図中特記無き記号は以下の通り

-  照明器具A
撤去: プラケット照明、FL20W×1
改修: LEDプラケットライト、防湿・防雨型
公共型番: LBF3MP/RP-2-06
-  新設プルボックス
屋外、SUS製、ET付
-  既設タンプスイッチ
-  既設プルボックス
-  既設配線

注記

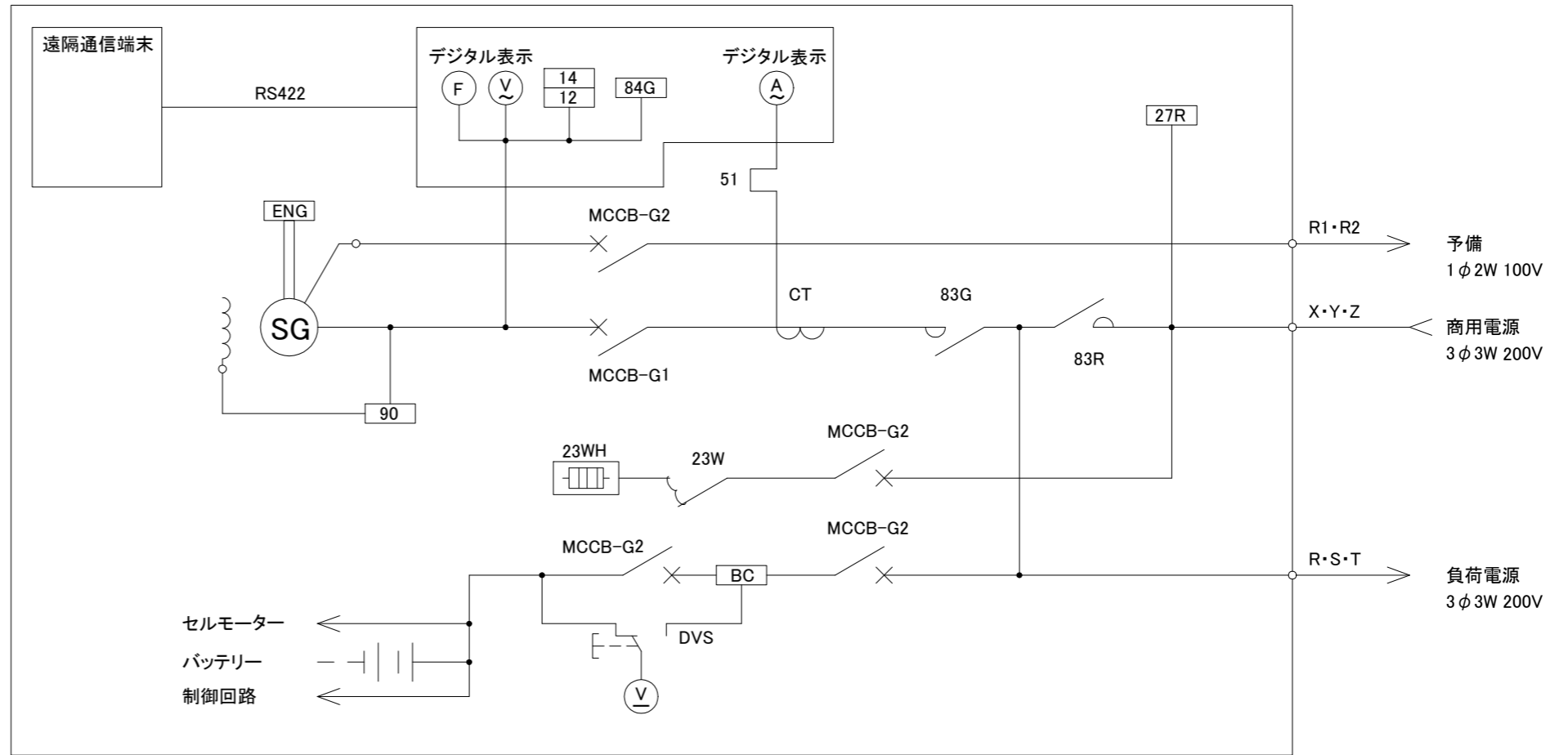
- ・不要な配管配線は撤去処分とすること
- ・厚鋼電線管は溶融亜鉛メッキで無塗装のこと
- ・支持金具、ビス等はステンレス製とすること
- ・配線撤去後に予備配管とする際に、導入線を通線しておくこと
- ・屋上設置の既設消火器(10号)収容箱をプラスチック製からステンレス製へと更新すること
- ・消火器本体(10号)は既存再使用とすること
- ・6kV EM-CETケーブルは、EEタイプで使用する

工事名	北消防署受変電設備改修その他工事	設計者資格氏名	級建築士登録第	号	課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	1階・5階・屋上 平面図、PAS取付詳細図	図番	3/5	縮尺	1:100・NS(A2)	作図	令和5年4月日	

非常用発電設備仕様書

1. 共通事項
 - 1-1 用途 非常用
 - 1-2 設置場所 屋外(屋上)
 - 1-3 原動機 ディーゼル機関
 - 1-4 認定 内発協認定品
(長時間形 40秒始動)
 - 1-5 一般事項 公共建築改修工事標準仕様書
(電気設備工事編)令和4年度版による
2. 発電機
 - 2-1 型式 屋外キュービクル式(重耐塩害塗装)
 - 2-2 容量 50kVA以上
 - 2-3 電圧 200V
 - 2-4 周波数 50Hz
 - 2-5 相線数 3相3線式
 - 2-6 極数 4極
 - 2-7 回転速度 1500rpm
 - 2-8 力率 80%(遅れ)
 - 2-9 励磁方式 ブラシレス式
3. 原動機(ディーゼル機関)
 - 3-1 型式 水冷 4サイクル
 - 3-2 回転数 1500rpm
 - 3-3 燃料 軽油
 - 3-4 始動方式 電気始動
 - 3-5 冷却方式 ラジエータ式
4. 燃料小出槽
 - 4-1 型式 搭載型
 - 4-2 容量 190L程度(満油渡し)
5. 騒音
 - 5-1 超低騒音型 75db

単線結線図(参考)



自家発電設備出力計算書

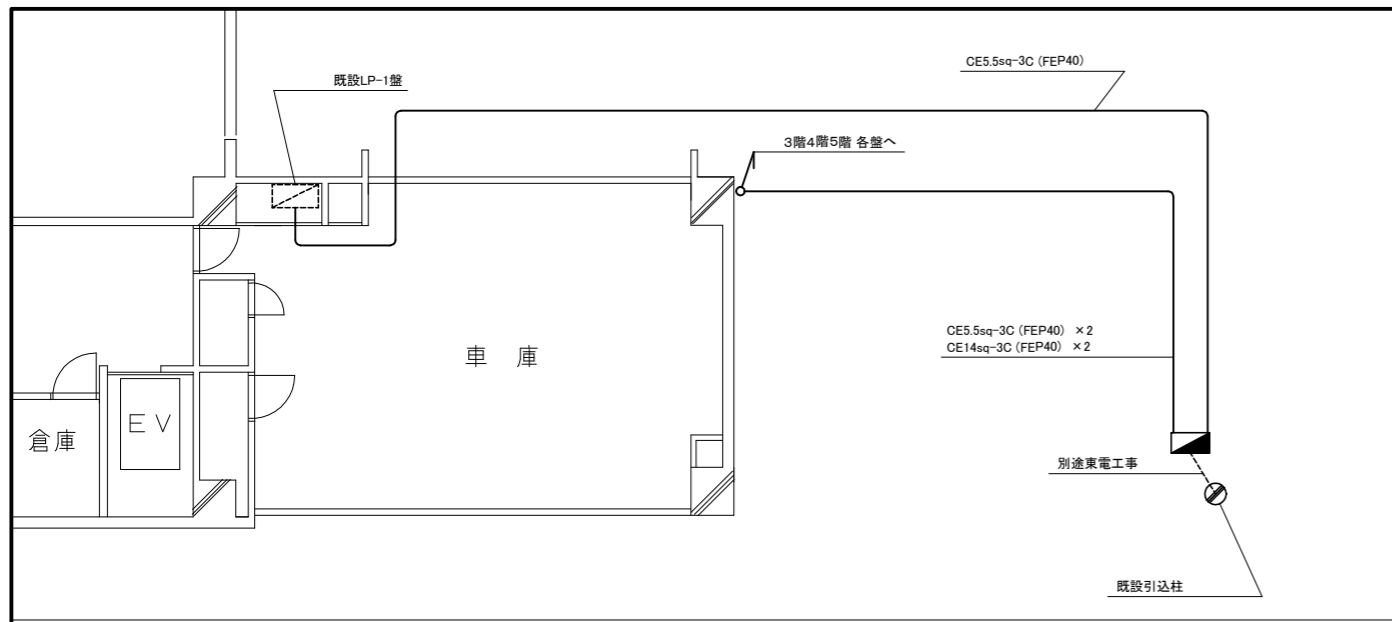
様式-2 <最大最終>

番号	グループ	負荷機器名称	消防設備	記号	台数	換算入出力 kW kVA	出力 mi (kW)	始制御方式	単相負荷 (kW)			需要率 di	分負荷相当出力 Mp (kW)	M2の選定 <A>	M3の選定 	M'2の選定 <C>	M'3の選定 <D>
									R-S	S-T	T-R						
1	A	LP-1 (P-0)		MLT	1	2.70	2.70	L	0.00	0.00	0.00	--	24.20	55.00	19.41	19.65	12.53
2	A	LP-4 ホースタワー盤		MLT	1	1.50	1.50	L	0.00	0.00	0.00	--	--	--	--	--	--
3	A	スコットトランス		P1	1	20.00	20.00		6.67	6.67	6.67	--	--	--	--	--	--
算出						負荷出力合計値 K =	24.20		6.67	6.67	6.67		選定	<A>の値が最大となる mi=M2= 24.20	の値が最大となる mi=M3= 24.20	<C>の値が最大となる mi=M'2= 24.20	<D>の値が最大となる mi=M'3= 24.20

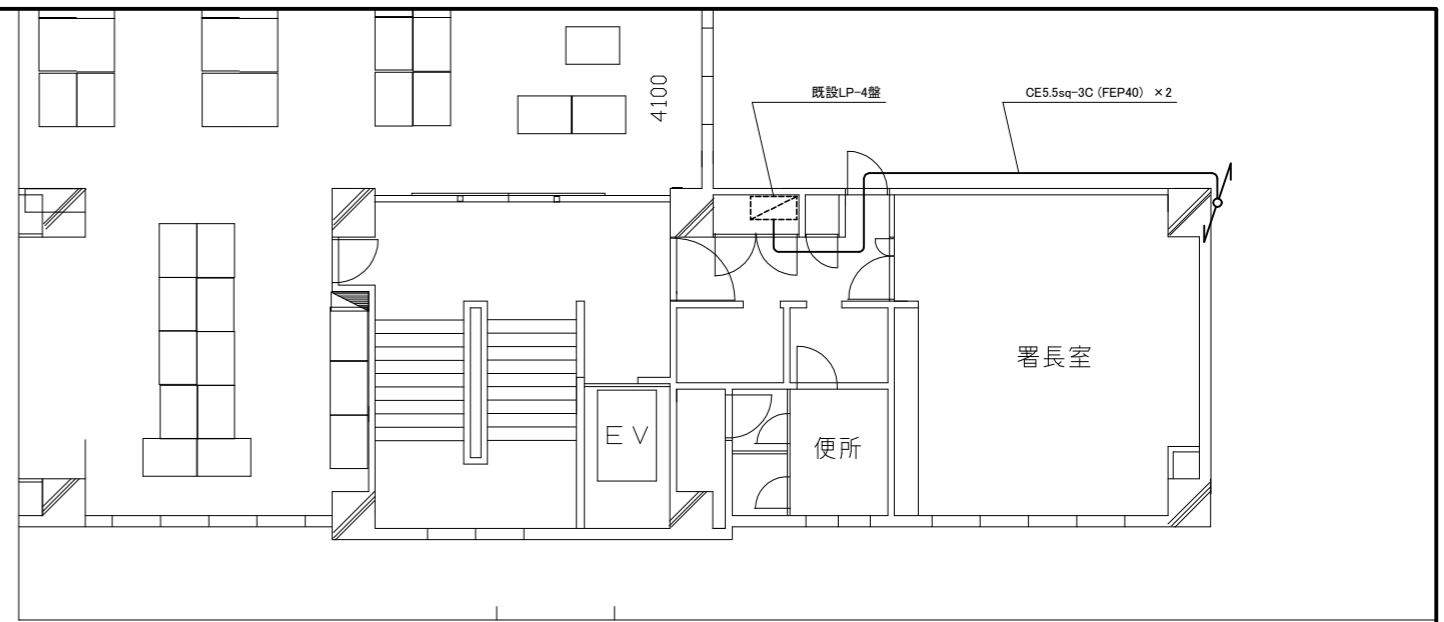
<A> := $ks/Z'm \times mi$:= $[ks/Z'm-d/(\eta b \times \cos \theta b)] \times mi$ <C> := $[ks/Z'm \times \cos \theta s - (e-a) \times d/\eta b] \times mi$ <D> := $(ks/Z'm \times \cos \theta s - d/\eta b) \times mi$
 (ただしエレベーター負荷のときは、各式にUv/nを掛けた値とする。) グループ欄が"単"の場合は、単機での始動を示す。

非常用発電設備仕様書(参考)

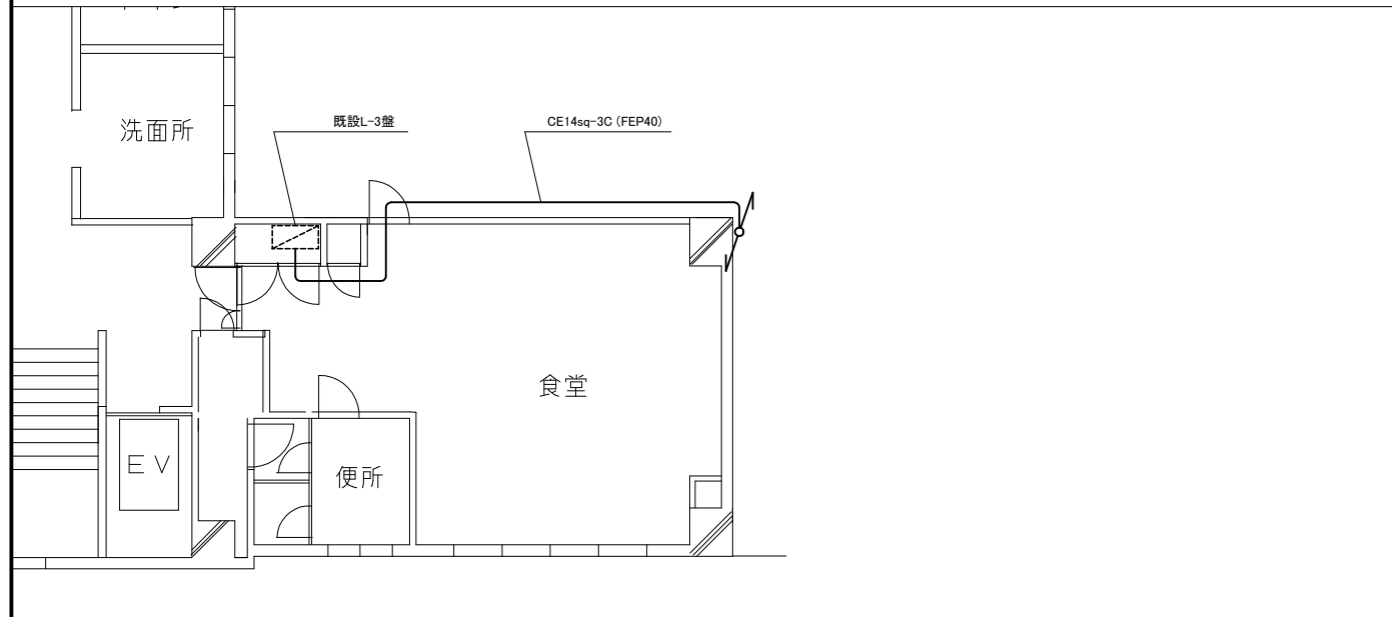
工事名	北消防署受変電設備改修その他工事			設計者資格氏名	級建築士登録第 _____ 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	非常用発電設備仕様書	図番	4/5	縮尺	NS	作図	令和5年4月日				



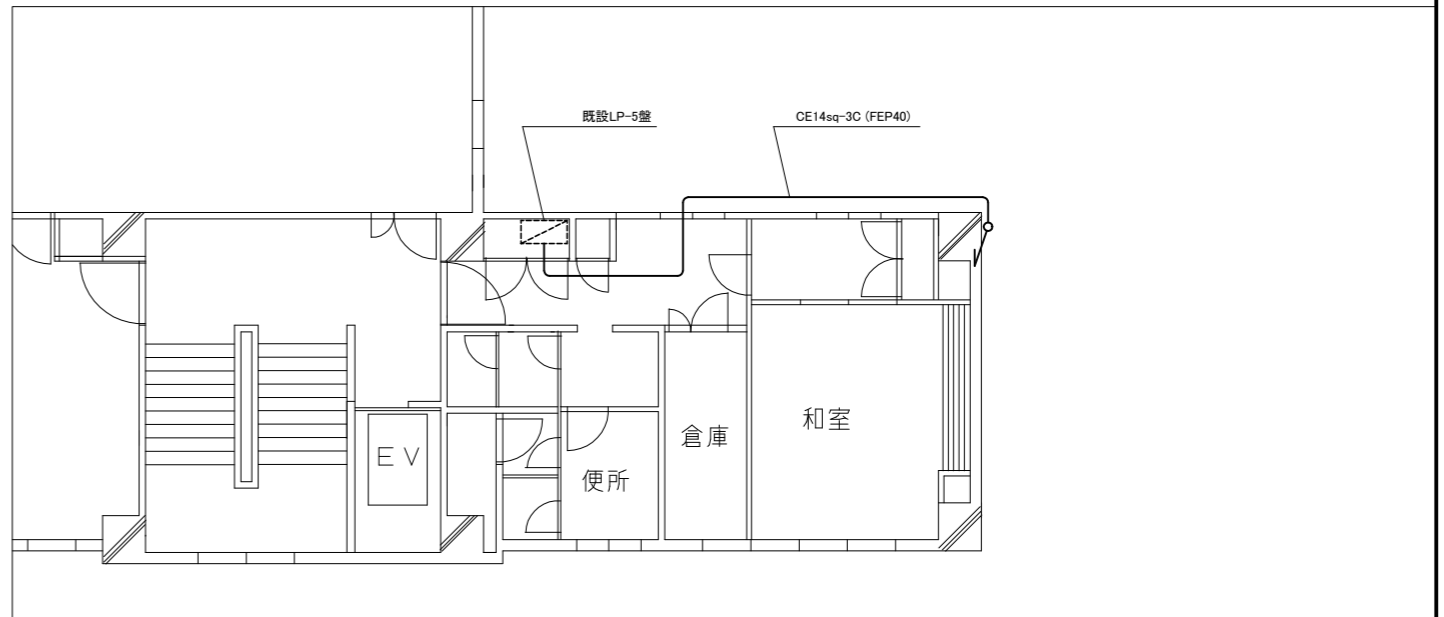
1階 平面図 1:100



4階 平面図 1:100



3階 平面図 1:100



5階 平面図 1:100

凡例

図中特記無き記号は以下の通り

- 仮設用電源盤
- FRP樹脂製、鍵付
- MCB3P225AF/175AT × 1
- MCB3P100AF/75AT × 1
- MCB3P50AF/50AT × 5

仮設仕様

- ・キュービクル更新時の仮設仕様として
- 仮設用電源盤(既設引込柱付近設置)と
- 仮設ケーブル(CE14sq-3C、CE5.5sq-3C)を用いて該当する盤へ配線すること
- その際に屋外配線は保護(FEP40)すること

注記

- ・不要な配管配線は撤去処分とすること

工事名	北消防署受変電設備改修その他工事			設計者資格氏名	級建築士登録第 _____ 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	仮設仕様図	図番	5/5	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和 5 年 4 月 日				